



室生龍穴神社から室生寺を巡る

猛暑の夏も過ぎ、いよいよ紅葉シーズンの11月がやってきました。

11月のよりみちクラブでは深山幽谷の室生の地へ出かけたいと思います。

まずは杉の大本が幽玄の世界へ誘う龍穴神社へ、猿沢池からお引越した龍が住むという吉祥龍穴(龍穴神社奥の院)へ、そして紅葉の名所室生寺へ訪れたいと思います。

室生寺は現在、真言宗室生寺派の大本山で、古くから『女人高野』として親しまれています。歴史は古く、奈良時代の末期、山部親王(のちの桓武天皇)の時代へと遡ります。興福寺とは因縁の深い寺です。室生寺と龍神、そして興福寺とどうつながるのか？

悠久の歴史を刻み、龍神が護るという霊域へよりみちクラブがご招待いたします。ご参加お待ちしております。

日時: 2024年 11月14日(木) 10:00~16:00頃

集合: 10:00 近鉄室生口大野駅 10:19発のバスに乗ります。

持物: お弁当、飲物、雨具、トレッキングポール(登山用杖)

室生寺拝観料600円(JAF割引あり) バス代(行き560円 帰り500円)

雨天対応: 前日17時の気象庁天気予報「宇陀市」の午前又は午後の降水確率60%以上で中止

中止の場合、前日事務局よりメールで連絡します。

ご案内: 服部(リーダー)、玉尾ひとみ(サブリーダー)でご案内します。

行程: 近鉄室生口大野 ~ 🚗 (10:19発) ~ 龍穴神社 🏯 ~ 吉祥龍穴 ~ 龍穴神社(昼食) ~ 室生寺 🏯 ~ 室生寺境内 ~ 室生寺バス停(15:29発) ~ 🚗 ~ 近鉄室生口大野駅(15:43着)

(近鉄室生口大野駅発 上本町行急行 15:50発・16:11発)

龍穴神社 祭神 高龍神(たかおかみのかみ)

延喜式内社の古社であるが、創建年は不明。本来は、室生寺が龍穴神社の「神宮寺」であったとする見方がある。境内の1キロほど奥には吉祥龍穴と呼ばれる洞窟があり、龍神が棲むと言われてきた。かつて猿沢の池に住んでいた龍神が、春日山中に逃れ最後に、この室生山中に安住の地を得たという伝説がある。

室生寺 ウー(べんいち)山室生寺

この山峡に開かれた寺院は、密教道場であると同時に延寿・祈雨の修法を行う神聖な場所(龍穴神社との繋がり)として崇敬が高かった。

山部親王(のちの桓武天皇)が病気になり、興福寺の僧賢環が室生山中で延寿法を修したところ病は無事平癒した。この縁により室生寺が創建されたという。その後、法相・天台・真言の宗派が次々とこの寺に入り、近世になって室生寺が興福寺からの独立を巡り、争いが続いた。元禄期に真言僧の隆光と桂昌院によって新義真言宗豊山派として、興福寺より独立した。高野山が女人禁制であったことから、「女人高野」として、大いに発展した。



連絡先: 服部弘子 090-1141-3561 玉尾ひとみ 080-3111-1411

室生龍穴神社案内図



龍穴（奥宮）への道順

室生寺境内マップ



吉祥龍穴まで 1kmほど林道を登ります。龍穴の入り口からは急な階段があります。10 人以上は入れず狭いので、班に分けて下ることになります。入り口に竹の杖が置いてありますが、もしお持ちでしたらトレッキングポールのご準備をお願いします。また、室生寺は階段が多いです。